

安倍政権からの転換問う

市民の声で野党が共闘する画期的な選挙

6月22日公示、7月10日投票で行われる参院選挙。全国32の1人区で野党統一候補が実現するなど、かつてない野党の対決構図が生まれている。政治学者の富田宏治氏（関西学院大学法学部教授）に選挙の争点について語ってもらった。

選択 2016参院選



富田宏治氏（関西学院大学法学部教授）が語る

①

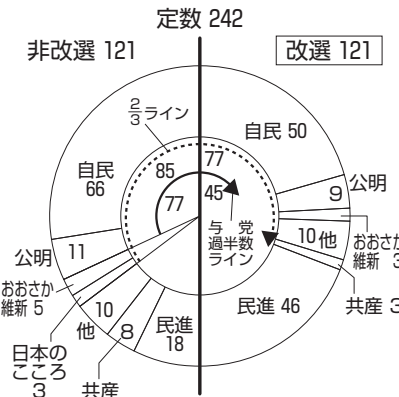
の参院選でも14年12月の総選挙でも「アベノミクス」一本でたたかいた、その後には「アベノミクス」の秘蔵の「アベノミクス」の是非が問われている。大企業の業績が回復した憲法違反の安保法制の強行だ。首相は、選挙が終わると憲法破壊の政治を繰り返すことを度外視している。消費税の再延長

は、アベノミクスの失敗の証明だ。景気を低迷させ、庶民の懐を冷や込ませる消費税増税そのものが問題だ。医療、年金、介護といった社会保障は改悪され、今後も高齢者の窓口負担増などが計画されている。非正規雇用・ブラック企業の広がりに、国民一人ひとりが、自

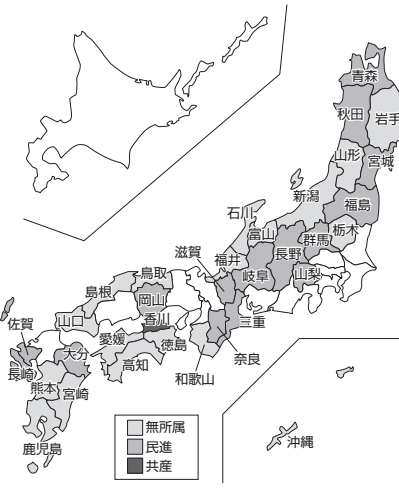
立した主権者として立ち上がる新しい市民運動が広がり、「戦後法案反対」の大闘争へと合流した市民革命がはじまった。いま、「安保法制廃止立憲主義回復、安倍政権打倒」を柱に、全国32の1人区すべてで野党統一候補が実現した。首相は、「民進党と共産党が一緒になってどんな経済政策ができるのか。対案を聞いたことがない」と言っているが、野党4党は、経済分野でも「共

通政策を豊かに発展させてきた。野党が共同提案した15本の議員立法は、暮らし、民主主義、憲法など、国政のさまざまな分野にわたっている。

参議院の勢力図（2016年4月末現在）



全国32の1人区すべてで決まった野党統一候補



社保研究部は4日、在宅療養支援歯科診療所の施設基準に係る研修会をM&Dホールで開催した。今次改定で新設された「か強診」の施設基準の一つである今研修には、定員を大きく上回る

232人が参加した。講師の高橋一也氏（大阪歯科大学高齢歯科学准教授）は、高齢者の口腔機能管理①高齢者の心身の特性②高齢者診療の緊急時対応③在宅歯科医療④高齢者の介護予防などについて解説した。研修を終えた受講者には最初に、歯科診療中のモニターの装着をスクリーンングのような歯科基本治療でも必須とするべきと指摘した。実際に、衛生士が遭遇した偶発症（血管迷走神経反射や過換気症候群）について症例を交え、発症後の早期対応法や準備すべき装置（AED）・薬物（アドレナリンの筋注やエピペンの活用）について詳しく解説した。患者は痛みそのものだけでなく痛み

歯援診研修会に232人 「か強診」新設で関心高く

などによる恐怖（精神的影響）が全身状態の悪化のきっかけとなりやすいため、適切な麻酔処置による除痛が必要とした。感染対策については、万能の薬や方法は無く、スタッフとマニュアルを作成し全員が同じ考えを共有することが重要であると強調した。

医療事故の防止策についても言及し、「人は皆ミスをする」ことが前提であり、環境要因がミスの引き金になることも多いと指摘した。ミスを責めず原因の究明・環境の整備が重要である。医療事故判例の解説では、あすは我が身と思えることも多々あり改めて自己反省をする時間になった。

大阪 保険医新聞

6/25
2016年第1238号
（毎月5、15、25日発行）

参院選は、憲法違反の戦争法強行後の最初の国政選挙だ。選挙では、安保法制の戦後法廃止、立憲主義の回復、安倍改憲を許すのかどうか問われる。自民党の改憲草案は「立憲主義」「民主主義」「平和主義」「個人の尊厳」を謳った日本国憲法の理念をことごとく捨て去る危険な内容だ。任期中（2018年9月に総裁選）の明文改憲を目標とする。安倍首相は、13年7月のアベノミクスの失敗

診療報酬増 共産が賛成

自民は慎重姿勢

参院候補者アンケート

政策部は、7月10日投票の参院選に向けて大阪選挙区（定数4人）の各候補者の政策や立場を明らかにするため、大阪府保険医協会と共同で政策アンケートを実施した。6月8日時点で立候補を表明していた有力候補6氏に調査票を送付し、17日の期限までに松川るい氏（自民）、わたなべ結氏（共産）から回答が寄せられた。

政策部は、7月10日投票の参院選に向けて大阪選挙区（定数4人）の各候補者の政策や立場を明らかにするため、大阪府保険医協会と共同で政策アンケートを実施した。6月8日時点で立候補を表明していた有力候補6氏に調査票を送付し、17日の期限までに松川るい氏（自民）、わたなべ結氏（共産）から回答が寄せられた。

「賛成」「反対」「その他」の3択で尋ねた。松川氏は、20項目中14項目で「反対」を選択した。「診療報酬の抜本的引き上げ」や「医療費の窓口負担の引き下げ」など多くの設問で賛否を示さなかった。診療報酬では美

参院選候補者アンケート（抜粋）	松川るい（自民）	わたなべ結（共産）
診療報酬引き上げ	賛成	賛成
窓口負担引き下げ	賛成	賛成
原発再稼働の中止	賛成	賛成
安全保障関連法廃止	賛成	賛成
憲法9条の堅持	賛成	賛成

「か強診」の施設基準の一つである今研修には、定員を大きく上回る232人が参加した。講師の高橋一也氏（大阪歯科大学高齢歯科学准教授）は、高齢者の口腔機能管理①高齢者の心身の特性②高齢者診療の緊急時対応③在宅歯科医療④高齢者の介護予防などについて解説した。研修を終えた受講者には最初に、歯科診療中のモニターの装着をスクリーンングのような歯科基本治療でも必須とするべきと指摘した。実際に、衛生士が遭遇した偶発症（血管迷走神経反射や過換気症候群）について症例を交え、発症後の早期対応法や準備すべき装置（AED）・薬物（アドレナリンの筋注やエピペンの活用）について詳しく解説した。患者は痛みそのものだけでなく痛み

医療事故の防止策についても言及し、「人は皆ミスをする」ことが前提であり、環境要因がミスの引き金になることも多いと指摘した。ミスを責めず原因の究明・環境の整備が重要である。医療事故判例の解説では、あすは我が身と思えることも多々あり改めて自己反省をする時間になった。

今日の数字
29.97%
2016年度の法人税率。国民には大増税の一方、大企業には5年間で7%超の大減税。

歯界

150年ほど昔、日本は感情的な尊皇攘夷の混乱から尊皇佐幕が尊皇倒幕の二つの激流に絞られつつあった。選んだ道は先進帝国主義の真似だった。

現在の日本で選挙の度に候補者たちは、国の進路を決定する護憲か改憲かの立場がベースにありながら、まるで食欲旺盛な国民に迎合するかのようになり、論点を経済に持ち込み、憲法問題は置き去りにされる傾向にある。そりゃ部分的改憲論者もいれば、9条だけは守らなきゃという人もいる。

著名人48人のアンケート調査（現代用語の基礎知識2014年版）では回答者の現行憲法への熱い思いが真摯に吐露されていた。有権者は場当たりの景気高揚策に惑わされることなく、候補者たちのそれまでの言動を思い起こして貴重な票を投じるだろう。

民主主義は巨大墳墓を造るくらいしか無駄遣いを知らない王政よりもコストがかかる。ケチな現代人は棄権という危険極まりない無額面小切手は切る訳にはいかない。

あすは我が身と思えることも多々あり改めて自己反省をする時間になった。（羽曳野市・小林裕次郎）